



2026 年 8 月 10 日

各 位

東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
株式会社クロス・マーケティンググループ
代表取締役社長兼 CEO 五十嵐 幹
(コード番号: 3675 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 CFO 小野塚 浩二
(TEL. 03-6859-2259)

2026 年 6 月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 8 月 12 日に公表した 2026 年 6 月期通期の連結業績予想と比較して、本日公表の実績値に下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 6 月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2026 年 8 月 12 日)	百万円 32,000	百万円 2,800	百万円 2,700	百万円 1,550	円銭 81.69
今回実績値(B)	33,204	1,790	1,809	796	41.19
増減額(B-A)	1,204	△1,010	△891	△754	△40.50
増減率(%)	+3.8	△36.1	△33.0	△48.7	△49.6
(ご参考) 前期実績 (2025 年 6 月期)	28,897	2,523	2,400	1,356	71.47

2. 差異が生じた理由

売上高は、リサーチ・インサイト事業において、米国関税や東南アジアを中心とした政情不安に伴う受注減からの回復が遅れたほか、中東情勢緊迫化の影響が加わり、とりわけ第 4 四半期 (2026 年 4～6 月期) に予想比で苦戦いたしました。しかしながら、デジタルマーケティング事業は概ね想定通りに推移したほか、同事業において予想に含めていなかった新規連結 (株式会社デジタリオ、株式会社スタートリング) の寄与により、全体では前回発表予想を上回りました。

営業利益につきましては、上述のリサーチ・インサイト事業の売上高伸び悩みを主要因として、前回発表予想を下回りました。

経常利益は、営業利益が予想を下回ったことを主因に、前回発表予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益および 1 株あたり当期純利益については、経常利益の下振れ要因に加え、保有する固定資産において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い減損損失 62 百万円、保有する投資有価証券の一部について投資有価証券評価損 50 百万円などの特別損失を計上したため、前回発表予想を下回りました。

連結業績に関する詳細は、本日 (2026 年 8 月 10 日) 公表の「2026 年 6 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2026 年 6 月期通期決算補足資料」をご参照ください。

以上